



TOSTEM リプラス 汎用枠・高断熱汎用枠 アタッチ枠 組立て説明書

●組立てされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●部材切断の際は、切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。



●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。(0.5mm以下)

・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。


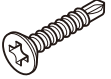

・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。




・アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレがないように、組立補助ブロックを張付けて組立てしてください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

| No. | チェック内容 | |
|-----|-------------------------|--------------------------|
| 1 | フィンカットした部分に凹凸はないか | <input type="checkbox"/> |
| 2 | コーキングシーラーは枠の周りにはみ出しているか | <input type="checkbox"/> |
| 3 | ねじは適正トルクで止められているか | <input type="checkbox"/> |
| 4 | アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレはないか | <input type="checkbox"/> |

■部品一覧

| アタッチ枠組立て | 汎用枠 アタッチ枠連結ねじ | |
|---|---|---|
|  | ※  | ※  |
| バインドタッピンねじ φ4×30 | 引違い上・縦枠 皿ドリルねじ φ4×19 (D7) | 引違い下枠、装飾枠 平パーリングドリルねじ φ4×15 |

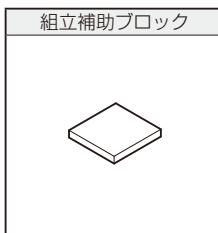
| 高断熱汎用枠 アタッチ枠連結ねじ | | |
|---|---|---|
| ※  | ※  | ※  |
| 引違い上枠 (室外側) コーキングワッシャー付 バインドパーリング ドリルねじ φ4×22 | 引違い上・縦枠 皿ドリルねじ φ4×19 (D7) | 引違い下枠、装飾枠 平パーリングドリルねじ φ4×15 |

※ねじは余る場合があります

組立て上のお願

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 新設サッシ枠・障子の組立ては、各新設サッシの「枠・障子組立て説明書」をご覧ください。
- 汎用枠・高断熱汎用枠の取付けは、「汎用枠・高断熱汎用枠 取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。

●QRコードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧ください。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。



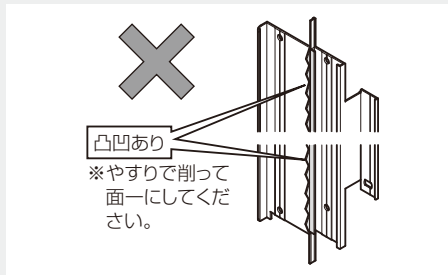
1-1 釘打ちフィンのカット

・専用設定の新設サッシ枠の場合は、フィンカットされていますので、1-2へ進んでください。

▲注意

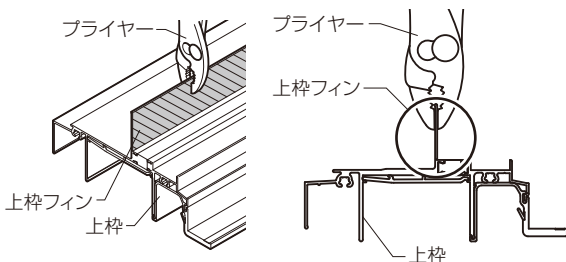


- フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。(0.5mm以下)
アタッチ枠の圧着が弱くなり、漏水の原因となります。

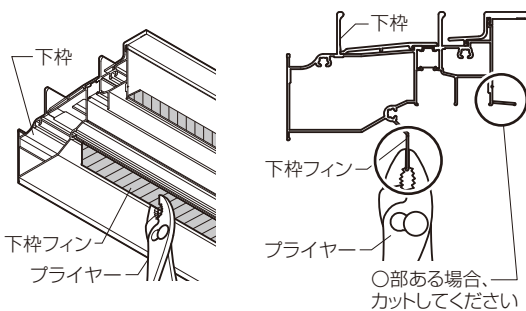


- 上・下・縦枠の釘打ちフィン根元の溝にPカッターで2～3回スジをつけます。プライヤーなどでフィンを折り曲げながら取り除いてください。

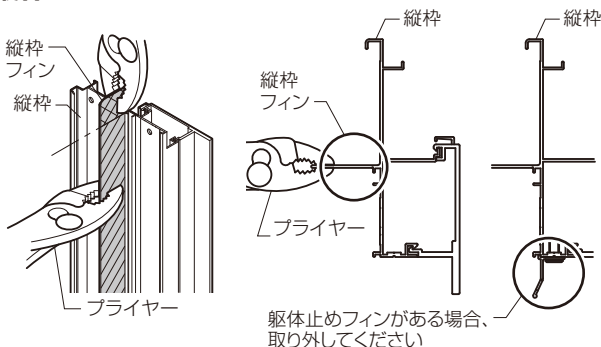
●上枠フィン



●下枠フィン



●縦枠フィン



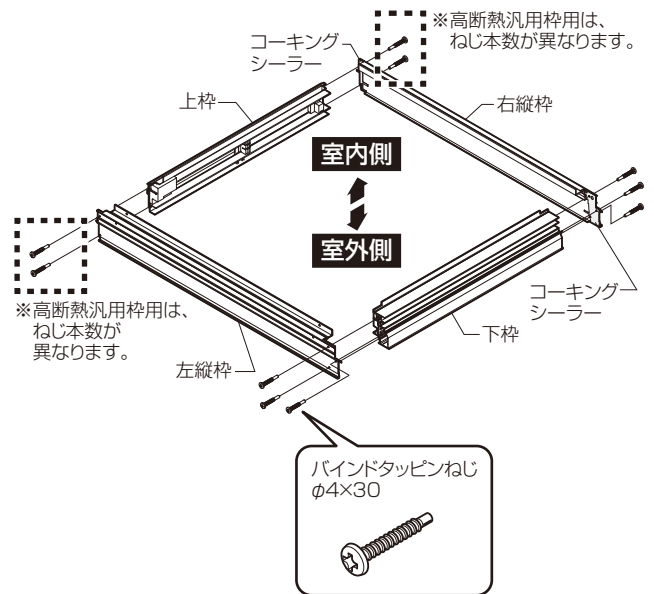
1-2 新設枠の組立て

▲注意



- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ (25±5kgf·cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

- 室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
- ※室内側アングル部の開きや段差(組ズレ)が出ないように、室内側からねじ止めしてください。
- ・図は代表として汎用枠用引違いです。新設サッシ枠の組立てでは、各新設サッシの「枠組立て説明書」をご覧ください。



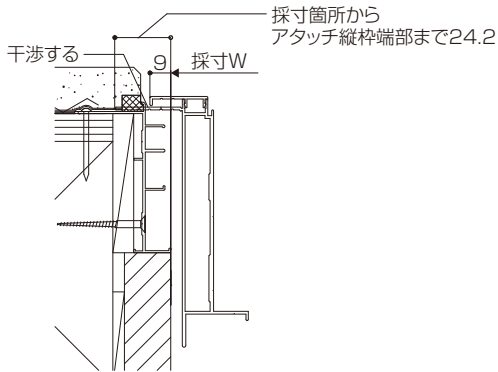
1-3 アタッチ枠の切断

▲ 注意

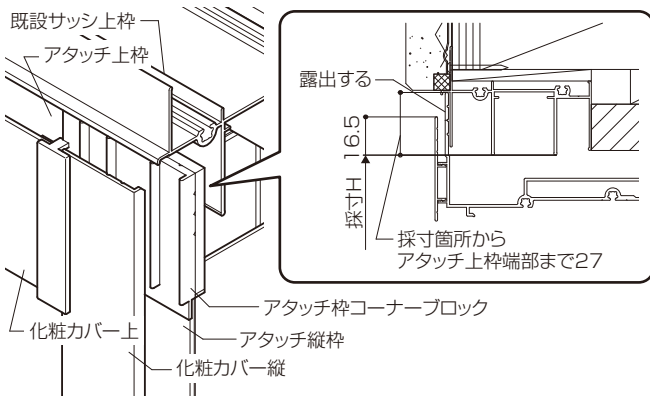


●切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。

●外壁などに干渉する場合は、納まりに応じて切断してください。

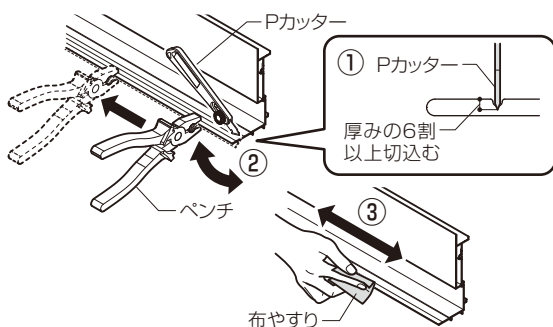


●化粧カバー小を選択している場合、納まりによってアタッチ枠が化粧カバーから露出する事があります、必要に応じてアタッチ枠とアタッチ枠コーナブロックを切断してください。



●切断手順

- ① 枠の裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ材の厚みの6割以上切込んでください。
- ② ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③ 切断した面を、布やすり(推奨粒度400以上)で研磨し、バリ取りを行ってください。

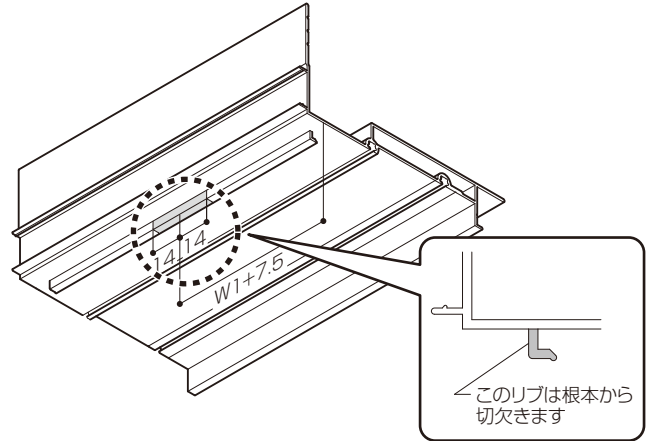


1-4 アタッチ上・下枠の加工(連窓の場合)

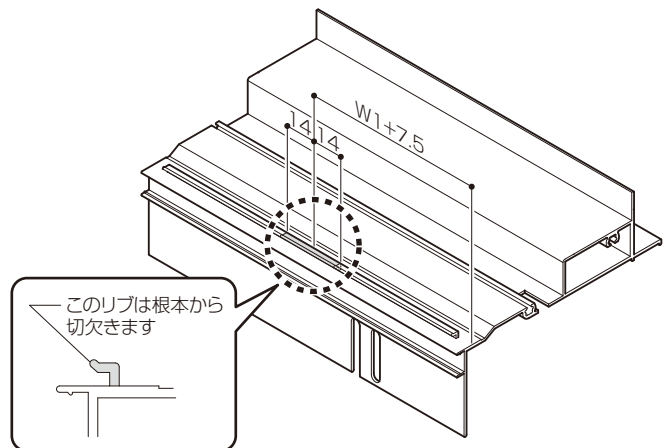
新設サッシが連窓の場合、アタッチ上・下枠に切欠き加工をしてください。

※連窓が複数の場合は、それぞれの連窓方立部に対して切欠きを行ってください。

●アタッチ上枠



●アタッチ下枠



2 アタッチ枠の組立て

▲ 注意



●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・縦枠両端に貼付けてあるコーキングが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレが出ないように、組立補助ブロックを張付けて組立てしてください。

①組立補助ブロックを新設サッシ枠の室外側に張付けてください。

②アタッチ下枠を新設下枠にかん合

③アタッチ縦枠を新設縦枠にかん合

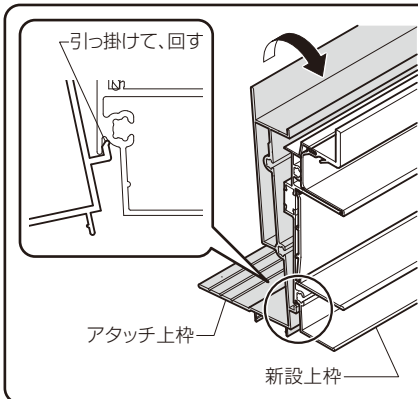
④アタッチ下枠とアタッチ縦枠を組立てねじで固定

⑤アタッチ上枠を新設上枠にかん合

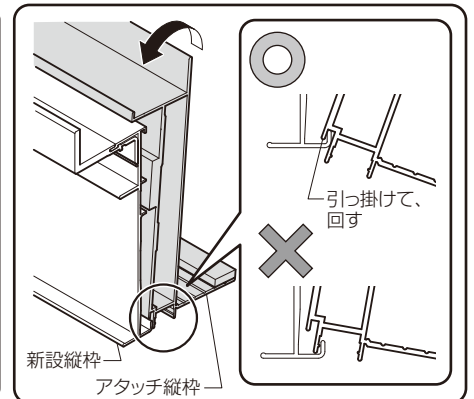
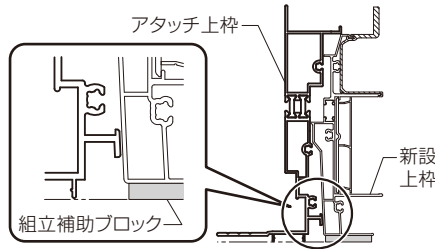
⑥アタッチ上枠とアタッチ縦枠を組立てねじで固定

⑦アタッチ縦枠を新設縦枠にかん合

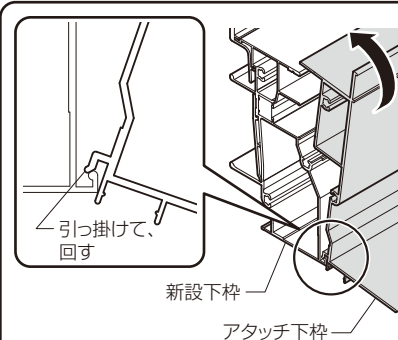
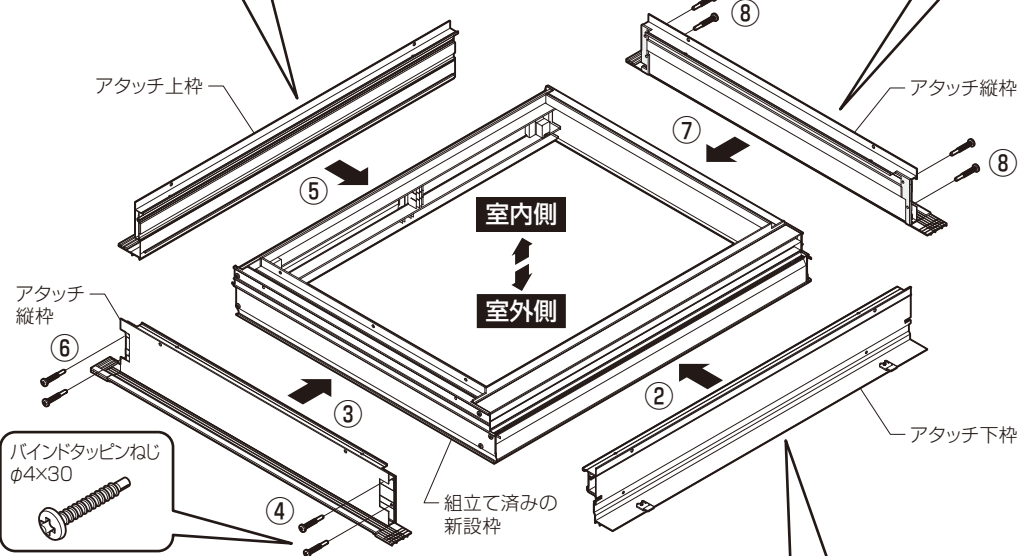
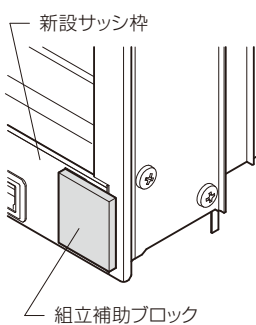
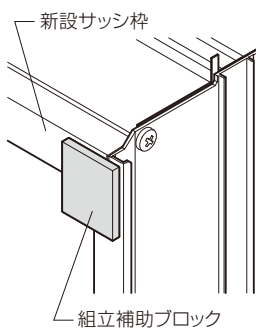
⑧アタッチ縦枠とアタッチ上・下枠を組立てねじで固定



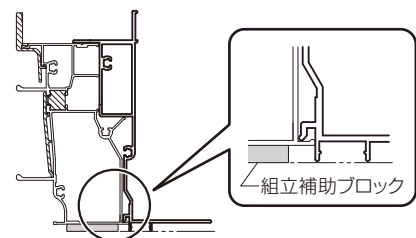
※高断熱汎用枠で新設引違い窓の場合、上枠に引っ掛け形状がありません。組立補助ブロックとアタッチ枠室外側先端を合せて組立ててください。



①
4ヶ入りの場合はコーナー部四隅に張付け、8ヶ入りの場合はコーナー部四隅+部材中間部に張付け



※汎用枠の新設引違い窓はテラスタイプでW1690以下の場合、下枠に引っ掛け形状がありません。断面の様に合せて組立ててください。

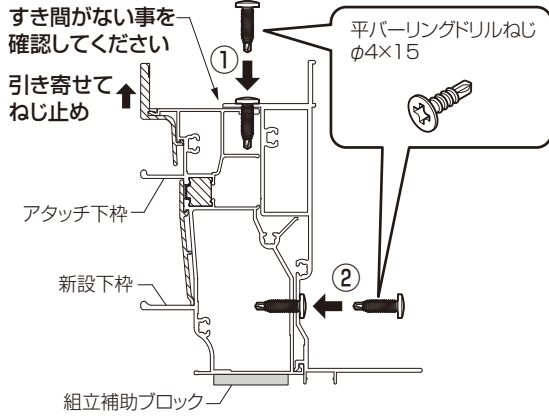


3 新設枠とアタッチ枠との合体

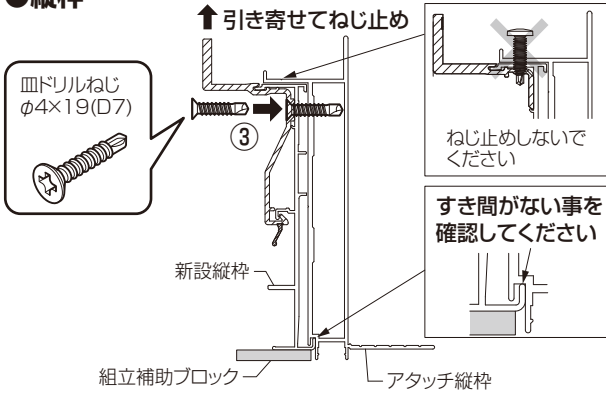
新設枠をアタッチ枠にねじ止めしてください。

新設枠が引違い窓の場合

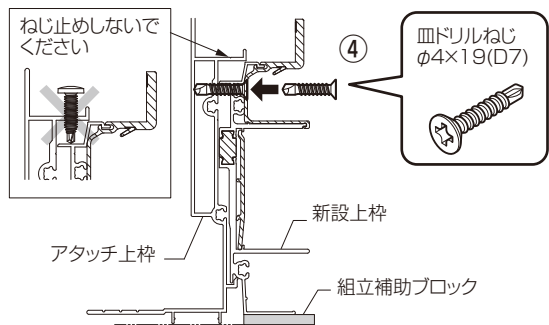
●下枠



●縦枠

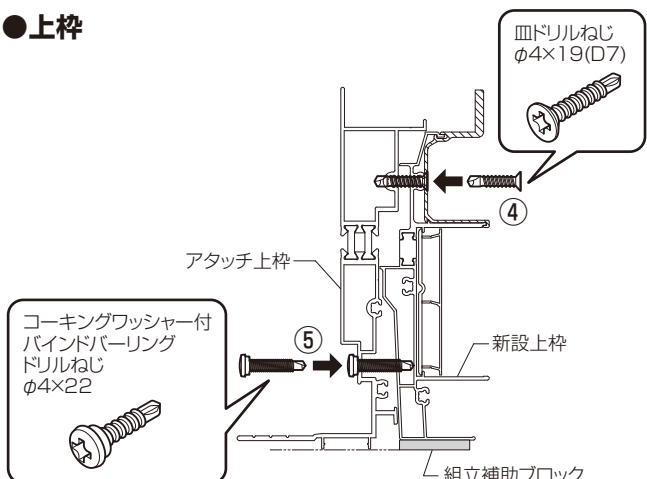


●上枠



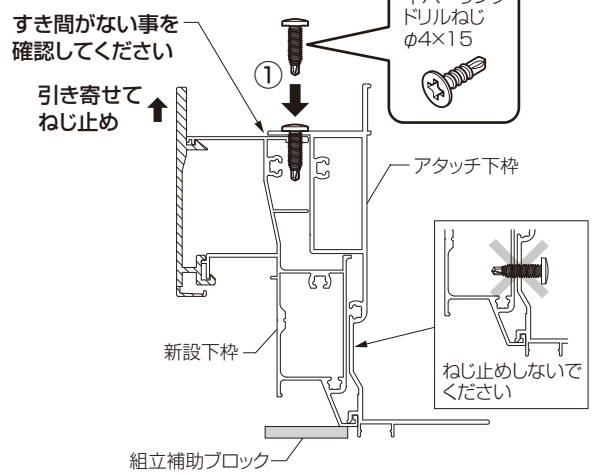
高断熱汎用枠の場合

●上枠

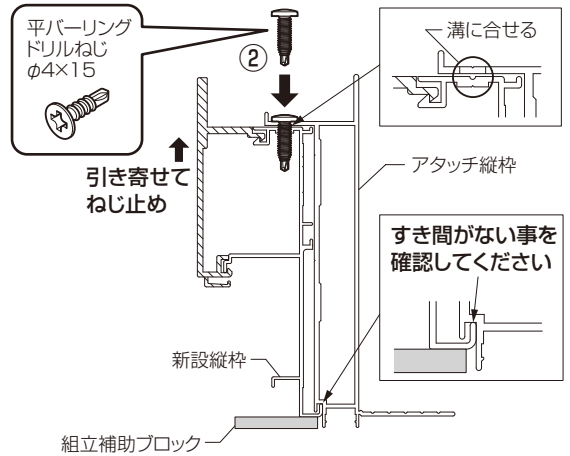


新設枠が裝飾窓の場合

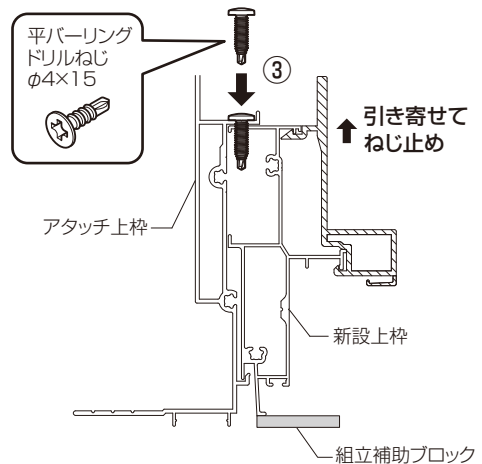
●下枠



●縦枠



●上枠



4 組立補助ブロックの取外し

新設サッシ枠に張付けた組立補助ブロックをはがしてください。

